

循環型社会形成推進地域計画改善計画書

1. 実施した計画の基本的な事項

(1) 基礎情報

ア. 対象地域

構成市町村等名	佐々町						
地域内総人口（人）	13,951人（平成31年3月31日現在）						
地域総面積（km ² ）	32.26km ²						
地域の要件	半島						
地域の要件がその他の場合は 具体的に記載							
構成市町村に一部事務組合等が含まれている場合、当該組合の状況							
組合名称（設立年月日）							
組合を構成する市町村							

イ. 計画実施期間

開始年月日	令和2年4月1日
終了年月日	令和7年3月31日
計画期間	5年

(2) 対象地域における取組みに関する事項

ア. ごみ処理の広域化・施設の集約化の実施状況

長崎県ごみ処理広域化計画（計画期間：平成 11 年度～平成 30 年度）の中では佐世保・県北ブロックの一部として位置付けされている。佐世保・県北ブロックは、佐世保市、平戸市、松浦市、佐々町、東彼杵郡 3 町（東彼杵町、川棚町、波佐見町）の 3 市 4 町で構成されるが、平成 22年度以降は、本町のごみ処理は佐々町単独で行っている。	
確認した都道府県の広域化・集約化計画の名称	長崎県ごみ処理広域化計画

イ. プラスチック資源の分別収集及び再商品化に係る実施内容

実施済の場合	実施地域	佐々町
	実施年度	平成13年4月
	実施方法	①日本容器包装リサイクル協会への委託（プラ法32条のルート）
	上記が④もしくは⑤の場合、その詳細	
実施しない地域		なし
プラ要件化対象事業の実施		—
備考		

ウ. 対象地域における一般廃棄物処理有料化の実施状況

有料化導入状況	①全ての構成市町村で導入済
上記が④の場合、その詳細	
未導入の構成市町村名	
有料化導入に向けた検討状況 ※全ての構成市町村で導入済の場合は記載不要	

エ. 対象地域における災害廃棄物処理計画の策定状況

策定状況	①構成市全てで策定済
策定済の構成市（計画の名称）	佐々町災害廃棄物処理計画
未策定の構成市（策定予定時期）	
備考	

2 目標の達成状況

(一般廃棄物の処理)

減量化、再生利用に関する指標		現状	目標	実績	
		平成30年度現状	令和7年度	令和7年度	実績/目標
①総人口（人）		13,951	14,050	13,796	
排出量	事業系ごみ排出量（トン）	1,914	1,872	1,805	260%
	生活系ごみ排出量（トン）	3,095	3,017	2,783	400%
	1人1日当たりのごみ排出量（g/人日）	531	510	490	195%
	その他排出量（集団回収等）	90	91	12	-7800%
	総排出量（トン）	5,099	4,980	4,600	419%
	1人1日当たりの排出量（g/人日）	1,001	971	914	290%
再生利用量	総資源化量（トン）	831	847	469	-600%
	総排出量に占める総資源化量の割合（%）	16%	17%	10%	
最終処分量	埋立最終処分量（トン）	70	68	366	0%
	総排出量に占める埋立最終処分量の割合（%）	1%	1%	8%	
エネルギー回収量	年間の発電電力量（MWh）	-	-	-	
	年間の熱利用量（GJ）	-	-	-	
特記事項					

※ 排出量は実績の割合/目標の割合を記載。再生利用量・最終処分量については、（実績の割合-現状の割合）/（目標の割合-現状の割合）を記載。

(生活排水の処理)

生活排水処理に関する指標		平成30年度現状		令和7年度目標		令和7年度実績	
		人口	構成比	人口	構成比	人口	構成比
処理形態別人口	公共下水道	10,874人	77.9%	11,922人	84.9%	11,485人	83.3%
	農業集落排水施設等	171人	1.2%	人	0.0%	人	0.0%
	合併処理浄化槽等	821人	5.9%	771人	5.5%	873人	6.3%
	小計：汚水衛生処理人口	11,866人	85.1%	12,693人	90.3%	12,358人	89.6%
	単独処理浄化槽等	412人	3.0%	288人	2.1%	305人	2.2%
	非水洗化人口	1,673人	12.0%	1,069人	7.6%	1,133人	8.2%
	小計：未処理人口	2,085人	15.0%	1,357人	9.7%	1,438人	10.4%
	合計：総人口	13,951人	100.0%	14,050人	100.0%	13,796人	100.0%
し尿・汚泥の量	汲取りし尿量	1,295キロリットル		1,092キロリットル		1,853キロリットル	
	浄化槽汚泥量	2,355キロリットル		2,420キロリットル		1,328キロリットル	
	合計	3,650キロリットル		3,512キロリットル		3,181キロリットル	

2 目標が達成できなかった要因

- ・再生利用量
焼却灰を資源化出来なかった。
- ・最終処分量
焼却灰を資源化出来なかった。
- ・公共下水道の処理人口・普及率については、下水道への加入促進の取り組みを行ったが、人口減少の影響が大きく、目標を達成することができなかった。

3 目標達成に向けた方策

目標達成年度 令和11 年度まで

- ・ごみの排出抑制と再資源化（リサイクル）を推進し、最終処分するごみ量を減らした上で、焼却灰の資源化に向けて、民間委託等を検討する。
- ・引き続き、公共下水道への接続、合併処理浄化槽の設置広報、啓発活動を行い未処理人口の減少に務める。
なお、水洗化の排水設備工事については、水洗便所改造資金融資あっ旋により借入金利息の助成を行う。

（都道府県知事の所見）

【ごみ処理】

引き続き町民（事業者を含む）へのごみ減量化及び分別徹底に関する啓発活動を通じて、ごみの発生抑制及び資源化が着実に推進されることを期待する。また、総資源化量及び最終処分量に係る課題を踏まえ、最終処分量の着実な削減と併せて焼却灰の資源化に向けた検討が進められることを期待する。

【生活排水処理】

佐々町では個人住宅への浄化槽設置に対して町単独の上乗せを実施しており浄化槽については前計画の目標を達成しているが、町民への広報周知活動の強化など汚水処理人口がより増加するよう、一層の取り組みを進めて頂きたい。

※令和7年3月31日までに承認された地域計画については、なお従前の様式にて提出できるものとする。